

令和6年度　自園評価の結果について

1. 評価基準	評価	内 容
	5	よくできている
	4	できている
	3	あまりできていない
	2	できていない
	1	よくわからない

2. 評価項目

	NO	評価内容	評価				
			5	4	3	2	1
理念・ 基本方針	1	入園のしおりを通して、理念や基本方針が職員や利用者に分かりやすく周知されているか。		100%			
	2	職員一人一人の役割と責任がグループ編成表に基づいて明らかにされているか。		50%	50%		
人材の確保 ・養成	3	職員の就業状況や意向を把握し、必要があれば改善する仕組みがあるか。			100%		
	4	職員研修の計画・実施がされており、評価・見直しが行われているか。		100%			
	5	実習生等の受け入れマニュアルに基づき、実習生・保育体験を受け入れ、育成に努めているか。	50%	50%			
地域や 関係機関 との連携	6	一時保育・育児相談など地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取り組みを行っているか。	50%	50%			
	7	医療機関・児童相談所・小学校・地域の団体等と連携の体制ができ、情報の共有・協力の依頼などの配慮をしているか。		100%			
適切な サービス	8	苦情解決の仕組みが十分に周知され、利用者からの意見などに対して、迅速に対応しているか。		100%			
	9	定期的に職員会を行い、職員間の活発な意見交流に基づいて保育の質の向上に努めているか。		100%			
	10	利用者の情報や記録が適切に管理されているか。		100%			
子どもの発達 援助	11	地域の実態や子どもの状況を踏まえて、全体的な計画を作成し、必要に応じて見直しをしているか。		100%			
	12	一人一人の子どもに応じた指導計画を作成し、定期的に評価し改定しているか。		100%			
健康管理・ 食事	13	子どもの健康管理・感染症などについてのマニュアルを作成し、安心安全な保育を実施しているか。		100%			
	14	子どもの食生活を充実させるために家庭と連携し、食育を推進しているか。	7%	76%	14%		3%
	15	子ども(アレルギー疾患をもつ子ども、障害のある子ども等)一人一人の健康状態に応じた食事の提供を行っているか	88%	12%			

保育環境	16	子どもが自発的に活動でき、生活の場に相応しい環境を整備しているか。	4%	80%	26%		
	17	子どもの人権に十分配慮すると共に文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮しているか。		79%	18%		3%
	18	子ども一人一人への理解を深め、受容しようと努めているか。	19%	62%	19%		
	19	基本的生活習慣や5領域を大切にした保育が行われているか。	8%	77%	11%		4%
	20	乳児保育(0歳)のための環境・体制が整備され、保育内容や方法に配慮がみられるか。	8%	73%	7%		
	21	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられるか。	9%	65%	26%		
	22	支援の必要な子に対し、環境が整備され保育の内容や方法に配慮がみられるか。		33%	67%		
	23	子どもの保育と密接に関連した保護者支援を行い、相互理解を図っているか。	5%	80%	15%		
	24	虐待等不適切な養育の早期発見に努め、疑わしい場合に児童相談所等に通告する体制が整っているか。	100%				
安全事故 防止	25	衛生管理・事故防止・災害・危機管理マニュアルを作成し、職員に周知され、適切に実施されているか。		100%			

結果のまとめ

・集計結果は昨年度とほぼ同じですが、改善された項目がありました。

- ☆子どもの一人一人への理解を深め、受容しようと努めているか。
- ☆子どもが自発的に活動、生活の場に相応しい環境を整備しているか。
- ☆子どもの人権に十分配慮すると共に文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮しているか。
- ☆子どもの食生活を充実させるために家庭と連携し、食育を推進しているか。

以上については「できている」が増えており良かったと思います。

・次の項目は改善が必要と思われています。

- ★基本的生活習慣や5領域を大切にした保育が行われているか。
- ★支援の必要な子に対し、環境が整備され保育の内容や方法に配慮がみられるか。

基本的生活習慣については一人一人が意識をしながら保育にあたり、日々積み重ねていけるようにしていくとよいと思います。

よりよい保育ができるよう各自が心掛けていきましょう。